

平成 29 年度 湖南省立図書館第 1 回図書館協議会 会議記録

- 開催日時 平成 29 年 6 月 16 日(金)午後 7 時 00 分～ 9 時 00 分
- 開催場所 湖南省立甲西図書館 2 階 集会室
- 出席者 図書館協議会委員 9 人(欠席者 1 人)、教育長、事務局図書館長他 5 人
- 傍聴人 3 人
- 議 事
 1. 図書館協議会の役割について
 2. 平成 28 年度市立図書館事業実績報告について
 3. 平成 29 年度市立図書館の事業方針について
 4. 図書館評価について
 5. その他

■開会

事務局	<p>定刻になりましたので、平成 29 年度第 1 回の湖南省立図書館協議会を開催させていただきます。開会にあたり教育長があいさつを申し上げます。</p>
教育長	<p>こんばんは。お昼間お仕事等ご多忙でお疲れのところ図書館協議会にご出席いただきありがとうございます。教育長の谷口でございます。</p> <p>湖南省の教育方針の中には図書館についても触れておりますがその説明は後ほどさせていただきます。その他にも図書館についていくつかお話をさせていただきます。</p> <p>まずひとつは 5 月に奈良で都市教育長会議がありそれに参加したのですが、全体会と分科会で図書館に関する報告がありました。全体会での提案は富山市の図書館の事例で、ここは予算もありこれは湖南省ではとても真似できないと思ったのですが、もう一つは分科会の伊丹市の事例でこちらの方は湖南省でも取り組めるのではないかと思います。伊丹市は 2016 年のライブラリーオブザイヤーを受賞されていて、内容は交流フロア運営会議というのを毎月 1 回されていて、これは「予約不要」「誰でも参加可能」で市民のアイデアから年間 200 をこえるイベントを実現されたということの紹介でした。これがライブラリーオブザイヤーの受賞理由です。で質問してきました、「予算はいくらぐらいですか？」と。回答は 200 回で 20 万円の予算とのことでした。1 回 1000 円で市民のアイデアを持ち寄って色んなことをされています。1 例をあげますと湖南省でもビブリオバトルはやっていますがこれを中学生・高校生・大学生が活躍するという風にいろんなアイデアを持ち寄っている人々を呼び込んでいます。そういう取組であれば湖南省の図書館でもできるのではないかと思います。</p> <p>図書館協議会は市民と図書館とを近づけるアイデアを出していただくという場だと思いますので委員のみなさまの忌憚ないご意見を頂戴できればと思います。それからもう一つ、伊丹市で言っておられたのは「それは無理」というのは絶対に言わないということで「アルコール飲めないの？」とかいろんな意見が出てくるのですが、それをどうすれば実現できるのかとかアイデアをいっぱい出し合って図書館を様々な人が集まれる場にしていってということでありまして、協議会でもそういうアイデ</p>

	<p> ィアも出していただければありがたいです。 次に教育方針をご確認ください。7ページ(7) 図書館と子どもの読書活動の充実の2つ目の「図書館の情報提供を充実させ市民の読書生活を豊かにするため、移動図書館車「マツゾウくん」の巡回コースの見直しを検討します。」という項目を本年度追記しました。このことについて説明をいたします。 図書館協議会の議事録を読んでいただくとわかるのですが昨年度の図書館協議会の中でも「マツゾウくん」についての議論はなされていました。その中で「マツゾウくん」というのは子どもたちの読書体験の良ききっかけになるから巡回コースから小学校を外さない方がよいという意見が大半でありましたが、私の意見は少し違います。それを踏まえて委員のみなさまで議論していただけたらと思います。つまり私の考えがどう違うかと申しますと「マツゾウくん」が小学校を巡回していて現在も小学校での貸出冊数は飛びぬけて多いです。それは学校の先生が子どもたちに呼びかけたり、連れて行ったりと児童に促してくれたりという努力をして下さって非常に多くの児童が本を借りてくれているということもあります。そうやって「マツゾウくん」は子どもたちの読書へのいざないという大変重要な役割を果たしてきてくれました。 ただ、今湖南市は全小中学校に学校司書を配置しています。「マツゾウくん」は学校司書が配置されていなかった時には子どもたちの読書へのいざないという意味で非常に重要な役割を担っていましたが、私は年度初めに学校司書の方にも話をさせていただいているのは「学校司書を配置している成果として子どもの読書量が上がった」ということも非常に重要な役割だと意識してほしいということを申し上げております。これまで学校司書は、授業改善の取組として図書館を使った授業に力を発揮して下さっていたのですが、読書意欲を高める方にも力を発揮してほしいという話もしたところです。 そうやって学校の方は学校司書に任せた分、移動図書館は他の所に巡回して図書館の情報提供、市民の読書生活を豊かにする、市民とつなぐ方へシフトできないかというのが私の考えです。これは協議会でも意見を出していただきたいと思うのですが、なぜそんなことを考えたのかと言いますと2年程前だと思いますが行革の一環として市民アンケートをとったことがあります。その中に「図書館がどこにあるか知らない」という人がおられました。これは認知度が低いということですからなんとか移動図書館車を活用して、たとえば乗降客が多い時間を狙って駅で貸出を行えないかとか。これは私が過去に図書館協議会の委員をしていた時にも出した意見ですが、これも「それは無理」というのではなく色々な意見を出していただいて「マツゾウくん」の巡回コースの見直しも一つの話題にしていただけたらありがたいと思います。 いずれにしても図書館協議会は市民の代表として色々な団体から集まっただいております。代表としてのお集まりいただいたみなさまに色々なアイデアを出していただいて、図書館と市民とを結びつける架け橋という役割を担っていただくこととなりますのでどうぞよろしくお願いいたします。 </p>
事務局	<p> それでは、次に各委員のみなさまの自己紹介をお願いいたします。 </p>

委員	<p>こんばんは私は平松に在住しております。湖南省に引っ越ししてきて約30年程になりますが甲西図書館が全国的にも注目を集めた時期に湖南省で過ごしているので、私自身も一緒に成長させていただいているという思いで今回お引き受けさせていただきました。どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
委員	<p>私は昨年12月から民生委員の主任児童委員に任命され、昨年度までは主任児童委員からの図書館協議会委員はなかったのですが今年度からということで主任児童委員の中で選出されました。ですが全く内容がわかっていなくてこの私がこの協議会で委員として何をすべきなのか不安はありますがそういう状態ですがよろしくお願ひしたいと思ひます。そして私は生まれたときから湖南省でずっと育っております。どうぞよろしくお願ひします。</p>
委員	<p>人権まちづくり会議から選出されました。どうぞよろしくお願ひします。人権まちづくり会議からというのも今年度初めてとお伺ひしておりますが、先ほど教育長さんのお話にあった富山の図書館にも足を運んだことがあり「すごい」と見させていただきましたが関心はあるのですがなかなか足を運ぶことは少ないなあとと思ひながら、また協議会で新たに勉強させていただけたらと思ひています。どうぞよろしくお願ひします。</p>
委員	<p>こんばんは。公募委員として是非入れてくださいと今回応募して採用いただきました。ありがとうございます。私は図書館が大好きで週に少なくとも2～3回は利用させていただいて本当にありがたい施設だと思ひています。図書館がなかったらきっと読まないだろうという本も読ませていただいて、人生を豊かにさせてもらっているなど図書館には本当に感謝しています。今回応募したのは図書館がどういう風に運営されているのかも知りたいし、足しげく図書館を利用しているので図書館の発展に役に立つこともあるかなという風に思ひ応募させていただきました。どうぞよろしくお願ひします。</p>
委員	<p>私は今年4月から少年センターにお世話になっております。少年センターは西庁舎の別館にあり近くに石部図書館があります。お昼休みは私の心の癒しの場所であります。どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
委員	<p>みなさんこんばんは。障害者就労情報センター運営協議会から選出されております。私自身は大池町にあります支援センターこのゆびとまれというところで相談支援をしております。こちらには不登校からひきこもりということでなかなか人の中に入るのが非常に怖いとか苦手という方がおりますが何人かの方は自分の居場所として図書館をすごく好きで、図書館が本人にとっての家以外のシェルター的に思っておられる方もいらっしゃってそういう意味ではとても意味深い施設だと思ひますし、先ほど教育長のお話を聞きながら、障害を持つ人と図書をつなげてなかなか知られていない人たちのことを少しずつ知らせていくというようなこととか、そういういろんなことがコラボできないかなあとと思ひながら参加させていただきました。どうぞよろしくお願ひします。</p>

委員	<p>湖南省国際協会から参りました。日頃多文化共生ということで様々な活動をしております。5年ほど前から中央まちづくりセンターで活動しているのですが、図書館を知らないというのは外国人の方にはほとんど知られていないので、講師の指導の下生活の一部として図書館を利用する指導を行い貸出をするという取組をしたこともあります。近年は図書館も外国人の方にも浸透してきたので実施していなかったのですが、新たな人を対象にまたやりたいなと思っています。それから外国の教科書の選書の協力をさせていただいたりして外国人の方にも図書館に親しんでもらえるような協力をしたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>まちづくり協議会の代表で参りました。石部まちづくりセンターの事務所の下が石部図書館で時々利用しています。孫たちも母親と一緒に図書館を日常的に利用させていただいています。図書館協議会の委員というのは初めてですがどうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>図書館の職員の紹介をさせていただきます。全員の出席はできませんでしたので管理職のみ出席させていただきました。順次資料に沿って紹介させていただきます。</p> <p>石部・甲西両館の館長の今井です。よろしくお願いいたします。</p> <p>石部・甲西両館の副館長の播口です。本日資料説明等させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>甲西図書館奉仕担当の課長補佐です。先日はのろさかん先生の講演会の際には多数のご参加をいただきありがとうございます。またいろんな事業を企画いたしますので引き続きよろしくお願いいたします。</p> <p>甲西図書館課長補佐です。議会事務局の兼務もしております。主な仕事は児童奉仕と学校連携です。よろしくお願いいたします。</p> <p>石部図書館で勤務しております。学校教育課の兼務もしております。</p> <p>他に入口でご案内させていただいておりますのは課長補佐は庶務担当をさせていただいております。その他、甲西図書館は他5名、石部図書館は他3名の職員体制で平成29年度図書館運営業務にあたりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>それから本日公募委員の一人がどうしても都合がつかず欠席されています。それと学校教育関係代表委員が他の会議が終わり次第こちらにお越しいただけるということですのでよろしくお願いいたします。</p> <p>引き続きまして役員選出についてご協議いたします。まず図書館協議会会長を委員の中から1名選出願います。ご推薦とかありましたらご意見いただきたいと思います。</p>
委員	<p>事務局案はありますか？</p>
事務局	<p>今事務局案はというご意見いただきましたが、事務局としましては名簿の2番目社会教育関係者委員にお願いしたいと思いますがいかがでしょうか？</p>
全員	<p>— 全員一致で拍手 —</p>

事務局	<p>ありがとうございます。では全員一致で拍手をもってご承認いただけたこととし前田委員に会長をお願いいたします。</p> <p>続きまして職務代理者の選出ですが、資料3ページ図書館の管理運営に関する規則27条の3で会長に事故ある時はあらかじめ会長の指定する委員がその職務を代行するとしていますので、会長から職務代理者の指名をお願いします。</p>
会 長	では職務代理者の指名ということで人権まちづくり会議代表委員にお願いしたいと思います。
会 長 職務代理者	— 就任のあいさつ —
事務局	それでは、議事に入ります。湖南省立図書館の管理運営に関する規則第28条に会議は会長が招集し、議長となると規定しておりますので、会長よろしくをお願いします。
議 長 (会長)	では1番目の議事「図書館協議会の役割について」の説明を事務局をお願いします。
事務局	<p>資料の3ページをお開き下さい。図書館協議会については図書館法という法律で図書館が行うサービスと図書館協議会のことについて定められております。その中には「土地の事情及び一般公衆の希望に沿ってなされることが求められている」ということで、それを実現する手段の一つとして民意を反映しやすくするために図書館協議会を設置するものです。</p> <p>詳しくは図書館法第14条で協議会の設置について定められており、同条の2で館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕について館長に意見を述べる機関とすると位置づけられています。第15条では委員は市の教育委員会が任命するということが皆様には辞令をお渡しさせていただいております。第16条は協議会の設置、委員の任命基準、定数、任期等の事項について市の条例で定めることということが謳われています。この条文により湖南省では「湖南省立図書館条例」の第3条から第5条で図書館協議会についての定数10名以内とすることや、任命基準、任期は2年とするが再任は妨げない等について定めております。さらに細かい規定については「湖南省立図書館の管理運営に関する規則」で協議会に会長を置くこと、選出は委員の互選によること、職務代理者のこと、また会議は会長が招集し議長となること、議事は委員の過半数を得て成立すること、事務局は図書館内に置くこと等が定められております。1番目の議事「図書館協議会の役割について」の説明は以上です。</p>
議 長	では引き続き2番目の議事「平成28年度市立図書館事業実績報告」について事務局説明をお願いします。
事務局	<p>[議事2 資料No.②平成28年度市立図書館事業実績報告に基づき説明]</p> <p>では資料②に基づき説明させていただきますが、説明に先立ち全体としてですが平成27年度と比べて全体的に数字の落ち込んでいる項目が多いです。(以降資料②に沿って説明) 1.利用状況ですが図書館では実利用者の数や率を参考にすることが多いです。実利用者というのは来館者や登録者の数ではなく1年間に1回でも貸出を行った</p>

人を表します。これが28年度では10,314人で人口で割りますと約18.8%になりますので5人に1の方が図書館で最低1回は貸出利用をされたということになります。

②貸出冊数、③貸出人数は資料の通りで1日平均の冊数と人数も数字の通りです。

④予約リクエストについても石部・甲西・移動図書館でそれぞれ受け付けていますがそれ以外にホームページからのWEB予約受付の割合が他より上回っており便利に活用していただいていることがわかります。

⑤問合せ・調査相談については軽微なものとレファレンスに分けて統計を取っており表のとおりです。

⑥その他のサービスとして抜粋して説明いたしますと、書庫出納という項目については開架室にない書庫の本を借りられた冊数を示しており甲西・石部2館併せて4,250冊なのですが、これは書庫の冊数の3.5%にあたりましてこれだけの数の図書を書庫から出してきて皆様にご覧いただいているということになります。その他コピーサービス、館内設置のインターネットパソコンの利用は表のとおりです。次の下のホームページアクセス件数というのは図書館のホームページへのアクセス数ではなく、蔵書検索やWEBでの予約をされたりというアクセス数になり、こちらは472,227回で昨年度より増えております。

⑦の石部図書館—甲西図書館間の資料の移送冊数についてですが、利用者の方は石部・甲西両館の資料はどちらで借りてどちらで返却していただいても良いことになっています。そういうことで互いに自館の資料でないものが返却された場合には元の館へ戻すという処理を行っております。それが表の1欄目の返却本になります。また例えば甲西の本だけれども石部で借りたいと言われた場合には、3欄の予約本として甲西→石部へ本を移送して石部で借りていただくということでカウントしているのがその数になり、全体の貸出冊数の石部では15.7%、甲西で7.8%を占めています。

⑧の障害者サービスは録音図書は朗読ボランティアに吹込みを行っていただいて、現在CDが多くなっているのですが月1回の広報こなん、年4回の議会だよりは利用者はテープ1名CD7名、毎週1回の読売新聞コラムはCDで2名に提供をしています。その他未所蔵テープ雑誌、デージー図書は各1名。また点訳サービスとしましては、こちらもボランティアにご協力いただき広報こなん、毎月の図書館行事予定表、図書館カレンダーの提供を3名に行っています。7ページでは移動図書館車の巡回状況の詳細を載せております。巡回頻度は平成28年度は月1回です。8ページでは2.資料で資料の数を示しております。

①図書（蔵書冊数）は表のとおりですが、甲西図書館においては開架室10万冊・書庫10万冊というキャパを約26,000冊程度オーバーしているため後ほど館内を見てくださいますが書庫が棚に入りきれない資料であふれているというお恥ずかしい状況になっておりますが、この解消に向けて取り組んでいるところです。

②では図書の購入冊数を記載しています。28年度は2館と移動図書館で約1万冊ほど購入させていただき蔵書全体に占める割合は約3%です。

③では除籍冊数を記載しています。これが先ほどお話ししました書庫管理と関わってくるのですが、28年度は約15,000冊除籍しました。前年が5,900冊しか除籍できなかったため書庫の適切な管理のため除籍に力を入れています。

④逐次刊行物は新聞・雑誌のタイトル数を石部と甲西で記入しています。（ ）内は市の予算で購入しているタイトル数でそれ以外

は寄贈や雑誌スポンサー制度で提供していただいているものということになります。

⑤は視聴覚資料の数です。CDは音楽CDです。視聴覚資料の大半はこのCDの数になりますがCDブックも高齢化の影響か貸出も伸びています。そのため28年度は音楽CDとCDブックを新たに購入しました。9ページの3職員体制につきましては本年度は石部・甲西両館併せまして臨時職員も含め15名の職員体制となっております。それぞれ司書資格の有資格者数は（ ）内に記載していますが、申し訳ありません誤りがありまして平成29年度の石部図書館兼任職員は（2）のところ（1）と誤っておりますので訂正お願いいたします。なお兼任職員につきましては、石部図書館は学校教育課との兼職により学校図書館の業務を、甲西図書館は議会事務局との兼職で市議員のレファレンス調査の対応業務を担っております。また本年度図書館司書を10数年ぶりに新規に2名採用していただくことができました。

4. 図書館協議会につきましては年4回開催いたします。また11月には滋賀県内の図書館協議会交流会が開催されますので、こちらもご案内させていただきます。

5. 協力事業としては図書館見学を石部・甲西両館受入れしました。貸出については小中学校へ調べ学習用の図書を協力貸出していますが、まずは学校司書の方で学校図書館連携のもと図書を集めていただいた上で不足している図書や、さらに学習が深まるような内容の図書を公立図書館の司書が選んで貸出を行います。

10ページの6. その他の事業等ですが①乳幼児健診時啓発事業は乳幼児健診に司書が出向いて4ヶ月健診時のブックスタート事業、10ヶ月健診時の絵本の読み聞かせの実演を行っています。②雑誌スポンサー制度は図書館の雑誌の購入費用を負担していただくことでより多くの雑誌を図書館で所蔵し利用者に読んでいただくことができるという制度です。昨年度は企業8社14誌・個人4名5誌にご応募いただきました。

③は保育園幼稚園向けのセット貸出になります。昨年は10園114セット3,420冊の貸出を行いました。その他子ども向け事業として秋の図書館祭、ポイントラリー、生涯学習課の親子プレイステーションの会場提供、ボランティアとの協働事業も開催したところです。11ページは、8. 集会行事としましておはなし会、講演会を開催しております。その内9月25日に開催しました湖南省「読書の魅力」種まきプラン推進プロジェクト「子どもの成長と読書」と題して児童文学者の斎藤惇夫さんの講演会を開催したのですが、本日の配布資料に湖南省「読書の魅力」種まきプランの図書館部分についての資料をお配りしていますのでまたご覧いただければと思います。湖南省における読書活動を推進する計画の一環になっておりまして、これが今第2次の計画になっております。また展示につきましても湖南省に縁のある内容を中心にテーマを絞って開催いたしました。そして市内4中学校の中学生による本の帯の展示も石部甲西両館で開催しております。12ページの方には人形劇や鉄道模型運転会はかねてから開催していただいておりますが、ビブリオバトルについては市民の実行委員会で実施していただき大人だけでなく中高生大学生の方の参加もあることから今後も継続的な取組として実施いただきたいと思います。9. 資料のリサイクルはこれまでは期間を定めてリサイクルの日の広報を行いその期間に来館していただいた方がお持ち帰りいた

	<p>だいていたのですが、1月からは除籍に力を入れている結果、リサイクルに回せる数 がかなり溜まっていくこととなりますので、石部甲西両館とも玄関の風除室にリサイ クルコーナーを作りまして来館した方がいつでも自由にリサイクル本をお持ち帰りい ただけるように変更いたしました。10.ブックリストは夏休みに小中学生に読んでもら いたい本のブックリストを作成し、小学生は全員配付、中学生は学校図書館に設置し てもらっています。11.特設コーナーは入口に棚を設けまして季節にあった本や話題の 本のコーナーを作り、棚に埋もれている本もテーマに沿って並べることで手に取っ てもらいやすくすることを一つの目的に作っているもので石部甲西のテーマと回数をあ げさせていただいております。実績報告については以上です。</p>
<p>議 長</p>	<p>ではご質問等は最後に一括してお伺いすることとし、次の議事「平成29年度市立図 書館の事業方針について」の説明を事務局お願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>15 ページをご覧ください。事業方針を掲げておりますが平成28年度からの大きな変更 はありません。「暮らしの中に図書館を」を基本目標に市民の豊かな読書生活と知る権 利を保障する機関として、資料と情報の提供に努めることをモットーにしております。 1. 図書館運営に関しましては、基本目標は「暮らしの中に図書館を」ということで 誰もが気軽に親しめ、生活の中で役立つ図書館を目指すとしております。以下具体的 な事業展開について記載しています。2については資料収集と、新鮮かつ魅力ある蔵 書内容を維持するため資料除籍も計画的に行うとしております。3では資料御提供の 手段として貸出・予約サービスの充実と親しみやすいカウンター対応、図書館活動の PR等について触れています。4については児童サービスについてですが、子どもの 頃からの読書習慣の大切さを重視していることから事業展開を図っているところで す。5の学校教育および学校図書館の連携については兼務の職員をおいて学校図書 館の支援も行っています。6. 高齢者・障がい者・多文化サービスについては全ての方 に使っていただける図書館ということで、大活字本やCDブック、外国語本の蔵書を 増やしたり、ボランティアの方のお力を借りて録音資料や点字資料の提供を行います。 7の集会行事等については活字にならない情報の提供ということで、展示や講演会を 通じて、特に地域の情報発信ということで庁内関係課や地域・市民との連携により実 施します。8の図書館ボランティアとの協働については、おはなし会やビブリオバト ル等各種集会行事を協働で実施することにより市民参画の事業を実施します。9の図 書館協議会活動の尊重については市民が育てる図書館を目指し活発なご意見を賜りた いと思っております。10の市役所各部署との連携は各部署との連携を深めるとともに レファレンスのさらなる充実を図り、市民生活に役立つ図書館となるよう努めます。 11の市民の課題に対応したサービスの充実については、日常生活の課題解決に役立つ ような本のコーナーやブックリストを作成して情報提供に努めたいと考えています。 12 民間活力の活用としまして現在の雑誌スポンサー制度やその他にもお力をお借りで きるようなことを考えたいと思います。最後に今後の課題としましては湖南市行政改 革大綱に基づき効率的効果的な図書館運営が求められており、これからの図書館のあ り方や新たな図書館サービスの方向性の検討をさらに進めます。</p>

	<p>では引き続き4番目の議題の図書館評価についてですが、図書館評価とはどういうものかということをご説明させていただきます。図書館が望ましい運営をしているかということについて平成20年に図書館法が改正された際に図書館の運営状況を評価して指摘があった場合改善するよう努めなければならないということが追記されました。湖南省では平成26年度には図書館協議会に図書館評価の小委員会を作ってください他の図書館や事業方針を参考に評価項目の設定や指標の策定を行いました。</p> <p>27年度は図書館内で内部評価を行い、図書館協議会では外部評価をお願いしました。ただ公開についてはもう少し検討する必要があります、27年度はテスト期間ということで公開までには至らず、昨年度より正式にホームページや館内閲覧による公開を行っています。このように図書館評価はまず図書館内にて年度の目標設定を行い、それに対する内部評価を行い、さらに図書館協議会の皆さまには外部評価を行っていただくという流れになります。今回ご意見を賜りたいのは資料19ページからの平成28年度の実績に関する評価と平成29年度の取組内容をご審議いただきたくお願いいたします。</p> <p>資料④の平成28年度実績と評価につきましてはサービス内容を(1)図書資料の整備と整理および利用促進と(2)利用に応じたサービスの充実としそれぞれ8つと5つの評価指標を定め過去3年間の実績の推移と当該年度の目標、それに対する実績をまとめております。そのうちの※が付記している⑤⑦⑩⑪については市の総合計画や教育振興基本計画により目標値が既に定められておりその目標値を採用しています。それから次のページでより具体的な取組内容と内部評価を行っております。内部評価ですが21ページの表の下のおり達成率に応じてIからIVで評価しております。その中で評価がⅢとなっている項目が⑤の新規登録者数で目標に対する達成率が88.1%、⑧の予約件数が85.9%ですが、そのうちのweb予約件数は評価Iとなっています。具体的な取組内容とその成果、また個別評価については資料をご参照ください。また22ページ以降(2)利用に応じたサービスの充実についての評価基準については25ページの表の下のおりAからCで評価を行っております。27ページ以降については平成29年度の目標と取組み内容を示しておりますのでご覧いただきたいと思います。</p> <p>今後はこの内部評価を踏まえて図書館協議会の皆さまには外部評価を行っていただくのですが、昨年度までは小委員会を作って協議会とは別に何度かお集まりくださり外部評価の案を作成されそれを図書館協議会で審議し最終的な評価としておまとめいただいたのですが、今年度は初めて委員になっていただいた方が多く外部評価も初めてという状況ですので図書館の方で評価指標の参考をお示しし、それに応じて各委員さまが評価を行っていただき会長・職務代理者様で外部評価をおまとめいただくという風に考えています。</p>
議 長	<p>では一括してこれまでの説明で委員のみなさまからご質問やご意見がございましたらお願いします。</p>
委 員	<p>全体に拝見して思いましたのは、この表は27年度との対比で書いていただいているのですが、図書館のホームページを拝見していると平成22年度からの事業実績を掲げておられるのでそれと対比させていただくとすべての項目において22年度よりかなり</p>

右肩下がりの状況が続いているということがわかりました。平成 22 年度の実績報告では平成 16 年度までさかのぼった数値が記載されており、16 年という湖南市合併の年ですがその年の一人あたりの貸出冊数は 9.9 冊となっております。そこで平成 28 年度を見ると一人あたりの貸出冊数は 7.5 冊ということでこれでも全国平均よりは上回っているのかと思います。やはりかなり下がってきていることがわかります。そういう意味で先ほど説明いただいた評価で疑問なのは 21 ページの全体評価でⅡをつけておられましたが、これは目標から見た評価はそうなのでしょうけれども湖南市の図書館を考えた場合に冒頭会長さんのあいさつにもあったように非常に立派な図書館という意味で全国的にも名を馳せられたのにそういう状況で 16 年度から 28 年度を比較した場合、そういう根本的な考えがないままにⅡという評価がどうなのかというのが一つ疑問です。ただ昨年度の図書館協議会の議事録も読ませていただいて第 2 回での議論だったと思いますが「貸出冊数だけが図書館の評価のすべてではない」という意見があり、確かにそれはそうだと思いますしそういう趣旨の資料をその時配布されたようですが、それはそれとしてそれを前提と考えるとすれば、貸出冊数はこうだが実はこういう優れたところがあるとかもっと違う指標があって、だから図書館というのは利用してみなければわかりませんよといった提起をしないと数は減っているけど構わないとか、掘り下げの少ない評価では今後の図書館の飛躍にはつながらないのではないかと全体の数字を拝見して気になったところです。もう一点は教育長さんも冒頭にお話しされていました移動図書館の問題ですが、22 年度では 57.5% なんです、実績が。これも昨年度の協議会で議論があったようですが「移動図書館車について市は平成 13 年度に購入した車について更新はしない」とそれについて予算化は図れないと事務局から説明があったのですが第 4 回の協議会では 2 館 1 車体制は保持すると教育部長さんが言われている記録が残っているのですが、財政当局からすると 50 数%に落ち込んでいる移動図書館車を維持するのに予算をつけるはずがないというのは役所の常識です。だから教育長さんがおっしゃったようにそれについてどう総括して新たな方針を打ち出すかというのは非常に大事な点です。し気になる点だと思います。

それから問い合わせ調査件数の問題です。全体としては 22 年度と比べると増えていますが、レファレンス件数は甲西図書館では減っています。ある意味図書館の生命線といえるレファレンスの件数について需要がないということもあるでしょうが、その辺の落ち込みについてどのように考えておられるのか総括も必要なのではないかなと思います。それから障がい者サービスについてこれは金子さんがおられるので金子さんに意見を求めれば良いのですが、私は非常に少ないと思いますし、CDブックとかを障がいをお持ちの方が借りておられるのかもわかりませんが、それについての統計がないので、その辺でどこまで障がいをお持ちの方にサービスが行き届いているのかという評価がなかなかしにくいです。なかなか難しいとは思いますがその辺りをどのように把握されているのか、もしわかればお聞かせいただきたいです。というのは 23 ページの③の評価が A 評価をつけられているのですがこれがなぜ A なのかがこの資料ではわからないので教えていただきたいです。それから昨年の第 1 回の協議会の議事

	<p>録では読売新聞の編集手帳について意見がありました。「なぜ編集手帳か?」ということについて了承が得られているからとの回答でしたが他市の状況についての回答はなかったのですが、編集手帳の是非ではなくてコラム欄について1紙だけを取り上げるのはどういうことなのかと思いました。他新聞社は断られて読売新聞だけになったというのならわからなくもないのですがこれについてご努力されているのかについてお伺いしたいと思います。全体を通して対前年度比だけでの評価にとどまっているのはまずいと感じています。同様に22ページの⑩児童一人あたりの貸出冊数も平成23年度のピーク時と比べると28年度は86.2%にとどまっています。繰り返しになりますが対前年度比の評価だけに留まって良いのかというのも議論していただけないかと思います。それとの関連を明確にさせていただく必要があるのではないのかと思います。</p> <p>最後にもう一点、昨年の協議会の中で甲西図書館の行く末についてどうなるのかという議論が度々ありました。新しい庁舎に複合化される計画という説明がありますがそれに対して委員さんから、「新しい建物ができたところに図書館がどうこう言うことでは始まらないから図書館としてどういうビジョンを持つのか早く明確にすべき」という意見がありました。第4回の協議会の中でその点について教育部長さんが、まだ市自体が内容提示していない段階で図書館だけ明確化することはできないというお返事でした。確かにその通りだと思いますが委員さんのご意見のとおりやはりどういう中身にしていくのか、入れ物はどうかという図書館でありたいということは積極的に提示されるべきと思いますし、21ページに複合化計画についてとあるのですが、この現状についてその後どうなっているのか、わかれば教えていただきたいと思います。</p>
議 長	<p>事前にたくさんお調べいただき様々なご意見を伺っていると、まだまだ湖南省の図書館は伸びしろがあるのではないかという気がいたしました。では、たくさんご意見を述べていただいた中で事務局の方でお答えいただける事案がありましたらお願いします。</p>
事務局	<p>ご指摘いただいた貸出冊数の減少ですが、こちらは図書館の最大の課題で原因の解明と対策について検討しているところですが正直それが見いだせないという状況です。個々の図書館特有の問題なのか社会全体として読書離れが進んでいるのか、県内の公共図書館の一人あたり貸出冊数の10年の推移を調べたところいずれも同様の減少傾向でした。その原因はインターネットなど図書館でなくても読書意欲を満たすことができるようになったことにも要因があるのかもしれません。</p> <p>また湖南省だけでも年齢別の貸出実績を見ますと60代以上の方の年代以外はどの世代でも右肩下がりという結果になっています。これは図書館開館当初に利用されていた中心の世代が現在60代以上になられて利用を続けていただいているのではないかと、しかしそれ以外の層にはPRというか図書館として力が及んでいないのではないかと考えており、若い時から図書館を利用させていただくために児童サービスなどに力を入れるなど地道にやっていくしかないかと考えています。</p>
委 員	<p>年代別の統計もあるなら、どこの年代がどういう利用をしているのかというのは図</p>

	<p>書館全体を考える上で非常に大事だと思います。ちなみに野洲図書館のホームページでは年代別の実績も載せておられるのでそれもアリなのかなと思って見ておりました。もう一点、湖南市の実績報告も22年度は市の予算をどれだけ使って、一人当たりの行政効果とか。これが25年度まで続いているのですが26年度から極めて愛想のない内容にされたのですがみなさんに訴えるなら前の方が良いのではないかと思います。ご多忙なので省略されたのかもかもしれませんがアピールの上では残念だなあとと思います。</p>
事務局	<p>先程ご指摘いただいたように貸出冊数が全てではないけれど、じゃあ図書館がどのような働きをするのか、市民がどのような図書館なら利用したいと思われているのか分析が必要で、教育長のご挨拶にもあったように市民が主体的に活動する場とか居場所としての図書館というあり方の必要性も感じています。甲西図書館では紙カップ式の自動販売機を置いてカフェ・コーナーを設けましたが、そこに子どもたちが集まって飲み物を飲んで談笑されたりしています。カフェ・コーナーを目当てに図書館に来られそこで本も読んでみようかというような逆の効果もあります。もちろん図書館でするので本を借りていただきたいのですが、借りていただくだけではなくとりあえず図書館に足を運んでいただく仕掛け作りをしなければと思っています。そういうことができると結果たとえば貸出冊数は減少だとしても市民の皆さんは図書館をこんな風に使って下さっていますとしっかりと言うことができればそれも評価につながっていくと思いますし、今のご意見をお伺いして図書館が変わらなければと思いますし委員のみなさまには忌憚のない意見を出していただきたいと思います。</p> <p>それから障がい者サービスの件ですが読売新聞のコラムを音訳させていただいているのは、市民の利用者さんの他に県の視覚障がい者センターにも送っており湖南市では旧甲西町のときから読売新聞を協力させていただいています。他の新聞につきましては他市が担当されていてセンターが同様に管理され、利用者さんが求められればセンターで対応されるというシステムです。</p>
委員	<p>では湖南市の図書館でも他の新聞のコラムの音訳が聞けるという、そういう資料は置いてあるのですか？</p>
事務局	<p>資料を視覚障がい者センターからいただいているということではありませんし、湖南市の図書館としては置いておりません。</p>
委員	<p>では障がいのある方からそういう資料が聞きたいというリクエストがあった時にはセンターから資料を取り寄せて提供されるのですか？</p>
事務局	<p>障がいをお持ちの方はセンターに直接依頼されているというのが現状です。</p>
委員	<p>ではここに読売新聞が載せてあるのは、たまたま湖南市が担当しているコラムだからというだけのことですか？</p>
事務局	<p>はい、そうです。</p>
教育長	<p>私からよろしいでしょうか。今、委員からご指摘いただいたご意見は非常に大事な</p>

ことをおっしゃっていただき、私もこの評価の内容はそういう見方をしてもらいたいと考えておりました。現傾向の分析と数値が増となるためのアイデアを図書館だけに任せておいたのではアイデアが出ないのです。あいさつの中で伊丹市の例を出させていただいたのはその意味もあるのです。私自身は危機感を持っています。このまま減になっていくと。移動図書館車のことも含め2つ目の話をしますが「暮らしの中に図書館を」というのであれば中学区に一つの図書館が必要だと、自転車で行ける距離に図書館が、歩いて行ける距離とは言わないまでもせめて自転車で行ける距離に図書館がと、しかし湖南市は財源不足ですから2館これは町が合併して2館そして1車体制です。この1車はどういう意味かということ図書館のない中学校区2校区をカバーするという動ける図書館ですから最低これは必要だと思っています。ですが今の話、貸出が減になっているのに2館がいるのかとか、移動図書館の利用も「減になっているのにさらに新車を購入してくれというのか」というのが今の行革の考えです。いや必要だということを書いて行こうと思うとやはり人が来る、そして移動図書館車が活躍しているという姿を見せて行かないと、今は数字を取るために移動図書館車が小学校へ行っているそれはダメだろうと私は思っています。もっと違う方法で数字を取ってくる、そして市民の認知度が高くなるそういう移動図書館車だから新車が必要なのだといいことではないと難しいということです。3つ目は新庁舎の話ですが、これは本日の議会でも質問があり市長が答弁していますし私の考えも言いますと、当初はこの新庁舎建設の財源確保をどうするかと考えていたのは合併特例債でした。これが平成30年度で終わりますからだから急いで行おうとしていたのですが、合併特例債あとのくらい起債できるか計算したところ新庁舎建設資金としては不足だということで、他の特例債を検討したところ熊本地震で庁舎が倒壊したことで新たに新設された特例債を使えないかとか、他の起債がないかとか、いろんなものを使っていけないか再検討しています。だからその分計画が遅れています。そして建設にかかる費用についても最初は60数億とか72億とか言っていましたが、今近江八幡市も揉めています。経費が高すぎるというのが最大の課題で、湖南市は本当に財源不足です。私が教育長になって中身を知ってこんなことだったのかと驚いています。9月から赤字です。10億借りて返して20億借りて返してこういう繰り返しをします。自転車操業です。3月に補助金が入ってきて息を吹き返します。それでやっと黒字になっている。湖南市は94%が経常経費で人件費とか必要な経費ですので全く余裕はないです。そういう中で新庁舎建替えを行おうとすると建設費をもっと削減できないかということになっています、さらに。そうすると1㎡30何万円とか言ってますが1000㎡減らすと3億円減らせられるのではないかというのが現状です。ここまでは市長も本日議会で答弁しました。

ここからは私の考えですが、それなら甲西図書館は移転しなくても良いのではないかということです。ここの場所の課題は一部が借地であることです。ここに図書館を残すことで借地料を払い続けなければならないということです。では土地を購入できればいいのでは？ということも、これはあくまでも私の個人的な意見ですが思ってい

	<p>たりします。図書館を取り壊すのにも費用が要りますし、図書館が庁舎に入らないなら庁舎の全面積も若干小さくなるし建設費用もその分抑えられるし、いやこれは全く何も具体的には進んでいませんよ、かなり大胆に個人的な意見を言っているだけで、しかしそういうことも含めて東庁舎はどうなるのか、新たなアイデアもいただける段階ではあります。まだ内部どころかどういう建物になるのかというのはもう一度考えようということでもあります。そういうことで委員の皆さまには冒頭あいさつでも申しました通り、ありえないようないろんなアイデアを頂戴したいと思います。</p>
議長	<p>他にご意見ありましたらどうぞ</p>
委員	<p>私はずっと以前になりますますが京都に勤務しております、利用としては本を借りることはそれほどなかったのですが、そちらは勉強するスペースがあって、図書館の本を利用してレポートを書いたり長い時間いるというような利用をしていました。「暮らしの中に図書館を」というのであればどういう風に市民の暮らしの中に図書館を根付かせるのか。数字はたくさんありますが、これは昨年こういう風に指標を出しているということで決めておられるのでこれはこれとして、じゃあ何にウエイトを置くのかということで、先ほどからも貸出冊数減少しているというところを伸ばさないというのが潜在的に思われているのだと思いますが、それだけではないと私は思います図書館の利用方法としては。しかしながら先ほど野洲図書館の例も挙げていただきましたがアピール方法としては参考になるなと聞かせてもらいましたが、評価について何がウエイトが高いのかを共通認識として議論しないと意見がまちまちになるのではないかなと思います。図書館の利用の仕方も家庭環境や人によって異なりますし、先ほど22年度の実績も言われていましたが子どもの数も減っているのではないかと母数が減っているのではとぼんやりですが思いますし、そういうことがあるならそれを分析しないと数値だけでは判断が難しいと思います。</p>
委員	<p>誤解のないように申し添えますと、22年が標準の数値というのでは湖南市図書館のホームページに22年度の実績までがさかのぼって載っていたので私がたどれる最大の数値なのでそれを申し上げたのと、児童数の減少は図書館の貸出冊数の減少と比較すると非常に少ないです。貸出冊数が22年度の86.2%に留まっているのは単に児童数の減少が原因ではないと思っていますが、おっしゃられたようにそればかりにこだわっても決してよろしくないと思いますので、それをどう考えるかはこの協議会の役割の一つであると思います。</p>
委員	<p>遅れまして申し訳ありません。小野田と申します。学校を代表して委員をさせていただきます。時間も押しておりますのでお返事まではいいのですが内部評価について意見を述べさせていただきます。8ページの⑤視聴覚資料の石部図書館のVTR資料698点ですがもう今はVTRの再生機器自体が古くなり新たに購入されないという時代にこういう資料はどうされるのかなあというのが気になりました。それから9ページの職員体制で副館長は司書資格を有しておられますが、今新しい図書館を議論しているところですので館長さんにもぜひ司書資格をとっていただきたいと申します。生涯学習の学びとしては是非ご検討いただきたいです。同じく9ページに職場体験</p>

	<p>学習というのがあってこれまで気が付かなかったのですが、市内の4中学校からずっと以前に図書館に職場体験のお願いしました時には個人情報のことがあるので受入れできないと断られたので、なのに水口東中学校は受入れされているのでそれなら市内4中学校にも門戸を開いていただきたいとお願いします。</p> <p>それで内部評価の中身ですが例えば21ページの個別評価の文言ですが例えば蔵書管理について計画的に除籍を進めるとありますが、これは28年度の評価なのでできたのかできなかったのかを書かないとおかしいのではないですか？同様に複合化計画についても作成するとなっていますので書きかえていただいた方が良いと思います。28年度も29年度も移動図書館車の活用を行うとサービス内容に上がっていますが、移動図書館車のそれぞれの巡回場所における数値を統計的にとられているのか、そうでないと指標では上がっていても実際どうというのがわからないので、工夫していただいた方が良いのではと思います。24.25ページを見てもブックリストとかサポーター募集あたりでは数値として上がっていないことが評価として上げられていて、これは指標では上がってこないことを文章表現として補っている意味なのか、だとすると指標の評価はここに書かなくて良いのか疑問に感じました。</p> <p>それから先ほどの意見を聞いていますと大変図書館に親身になって、いろいろ勉強をしてくださり頭の下がる思いで拝聴しておりましたが、ここにいる全員が図書館のことを知っているかというところではないかもしれませんが、そうは言ってもお引き受けしたということは図書館に対する想いというのは持っている者ばかりが集まっていると思うのですが、事務局の先ほどの説明では初めての人が多いから図書館で用意した評価を参考にしてもらいますという説明で、それだと内部評価と外部評価はどう違うのかと思ってしまいます。その辺は初年度はたとえ稚拙であっても外部評価は委員の意見を尊重するということが資料にも書かれているので、アドバイスいただかないとできないと思いますが、内部評価と外部評価が区別されるようなものにしなければと思います。</p>
議 長	その他、なにかご意見ありませんでしょうか
委 員	<p>私も元小学校の教師でしたので児童書・一般書というカテゴリー分けはもちろんあるのですが、私たちも小学校では読書の大切さ、言葉の大切さ、図書館の存在ということはあるがたく評価させていただいていたのですが、今立場が変わってこの仕事をしていて、例えば学校によっては移動図書館車の対応をしていただく先生がはっきりしていないという話もこの協議会で出たと思います。15から17ページの事業方針を見た時に青少年、いわゆる中高大学生のところは何も光が当たっていないという気がして、そこへのアプローチも考えていただくこととした時に先ほどからも出ていますが年代別の指標も一つの資料として大切なかなあとと思います。私たちが少年たちを見ても活字から離れている、コミックに流れる、スマホに依存しているという状況が確かに見受けられるので、先ほど館長から出ていたように図書館を生涯学習施設と考えた時にじゃあどういう風にアプローチしていくか、教育長が配ってくださった伊丹市の資料。あの中高大学生の笑顔。ああいうものがここに帰ってくるよう</p>

	<p>なそういう視点も持ちながら事業の方針を立てていただけるとありがたいなと思います。</p>
委員	<p>時間もないのですが、委員の方から非常に深い視点から評価ということをいただいたのでこの委員会も年4回しかないの、湖南省の図書館の利用のあり方っていうのをどう改善していくかということに的を絞ってやる部分と、会長さんは伸びしろって、教育長さんにはありえない発想というお二人の意見でこれから住民とどうコラボしていくかみたいところで私、自転車で行ける距離というお話は大変ありがたいとは思いますが、考えてみますと本の好きな障がいを持った人が私の所にもおられるのですが現行行けないです。兄弟がいた時は図書館が好きでよく行っていたのだけれど、弟が転勤になった途端に図書館へ行けなくなったり、施設のプログラムで行くと中には声を出す人がいるとだんだん図書館に行きづらくなって行きたい子まで行けなくなったり。そういう意味では移動図書館というのがサテライトという形で例えばうちのよう施設で継続的に場所を設けてとか、お茶を飲んでとか、障がいを持つ人や家族たちに図書・文化に触れるとか。そういうまちづくり、コミュニティに図書館が関与していくそういう風に考えると図書館の利用率が下がってきているということであれば危機意識を持って私たちも委員になりましたので、本来的に私たちがそういう人たちに文化っていうものをいかに提供していくかってところで、そこをつなぐ役割を持たなくてはいけない。そうであれば図書館が各施設や、例えばなかなか認知症の方は難しいですが100歳体操であるとかそういった高齢な方たち。なかなか自分たちで移動困難な人たちの所へ図書館ありっていうのを伝えるというかコーディネートしていく。これは図書館の中でいくら議論しても地域には届いていけないので、そういった発想をみんなで資料を準備してきて出して話をするとか、協議会をいくつかの協議項目に分けて、あと3回しかないですが協議が深まって実際の活動につながればと思いますので、私自身も本が好きだった人までも近づけていないなあと思い、それはきっとももっとも多くの人に伝えるべきだろうなと考えるとたぶん伸びしろというのは市民の側にも沢山あるんだろうと思って聞いていました。</p>
委員	<p>レファレンス件数については貸出冊数と同様に図書館の機能として大事なことなので指標にあげていただくことが大切ですし、60代以外の利用が減少していることについてはニーズの調査をしていただくとか、あるいは今おっしゃっていただいたように小グループで話し合いをしたり各自が情報を持ち寄りというようにしながら新しい図書館の姿を協議会として示すということが必要だと思いました。それから館長さんが居場所としての図書館ということを言われましたが、居場所とするには図書館のレイアウトをどうするか、スペースとかを提案していかないと市の決められたスペースの中で制限されるとそういう理想的なことはできないのでそういう意味からも新しい姿を示していく必要があるのではないかと思います。</p>
議長	<p>ご意見をいただいている委員の方もそれぞれの思いがおありかと思いますが。</p>
委員	<p>みなさんのご意見をお伺いして自分自身はここまで考えてなかったなあ。私は子どもと絵本が大好きでずっと活動しているのですが、現在心配なのはただ可愛いとか</p>

	<p>大人好みというか、子どもがそれを求めているのではなくて、大人の好みで子どもに与えたいというような本がすごく出回っているのではと危機感を持っています。そういう意味でも赤ちゃんからのブックスタートの重要性。ブックスタートは私も関わらせていただいておりますが、その本も司書の方と一緒に選んでプレゼントしている3種というのも本当によく考えて選ばれた本だと思っていたんですが、各家庭では訪問するとなぜこんな本がというようなものが沢山あって、親が良い本を選ぶ、年代に応じた本の選び方ということの啓発もこれから大切になってくると色々考えさせてもらいました。</p>
委員	<p>今のお話を聞いて湖南市の図書館では資料収集方針というのがあるのもホームページで拝見したのですが、これは1枚ものの抽象的なもので仕方ないとは思いますが併せて図書館としてどういう蔵書構成をされようとしているのか。どういう資料でこの図書館の魅力を打ち出そうとされているのか。次回は是非お聞かせいただきたいし、そこまで言わなくても直接見ているこれと思う本もあるので、すべてがすべてとは言いませんが程度具体的にこういう観点でこの本を選んでますという話を教えていただければありがたいし、それに基づいて我々も本も中身で訴えていく図書館にするにはどうすれば良いかということも考えさせていただければありがたいと思います。よろしくをお願いします。</p>
議長	<p>こんなにたくさんのご意見がいただける会議が年4回で1回約2時間ということで、もったいないという気がするので次回からもう少し絞って、すぐに行動に移せるような結果が残せるような議論ができればと思います。次はこうすればとかいうご意見がありましたら。みなさんに自由にご意見をいただくとさまざまなことに議論が広がってしまいますのでもう少し絞った方が議論が深まると思います。そのあたりは事務局の方で議題を絞っていただいてご意見いただくという方向か、委員の方から提案させていただくことでどうでしょうか。たとえば移動図書館車も長年同じコースを巡回されていますが先ほどのご意見で本が好きだけれども行けない人に本を届ける方法を議論するとか、テーマを絞った方が良い気がするのですがそのあたりを事務局で考えていただくようにお願いします。</p> <p>他にご意見はありませんか。</p> <p>ではみなさん活発に議論いただきありがとうございました。私も大変勉強させていただきました。では、これをもちまして第1回の図書館協議会を終了させていただきます。</p>

[閉会] (午後9時00分)